

設計課題 「シェアハウス(木造)」

1. 設計条件

ある地方都市において、シェアハウス(共同居住型賃貸住宅)を計画する。

計画に当たっては、次の①～③に特に留意する。

①入居者の交流とプライバシーの確保に配慮する。

②上下階の床衝撃音・騒音等に配慮する。

③LDKについては、耐震性及び上階からの荷重等に配慮する。

(1) 敷 地

ア. 形状、道路との関係、方位等は、下に示す敷地図のとおりである。

イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。

ウ. 建蔽率の限度は60%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は200%である。

エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。

オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

ア. 木造2階建てとする。

イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7 m以下とする。

ウ. 耐力壁(構造耐力上有効な壁)は、必要な量をバランスよく配置する。

(3) 延べ面積等

ア. 延べ面積は、「200m²以上、250m²以下」とする。

イ. ピロティ、玄関ポーチ、バルコニー、屋外テラス、駐輪スペース、ゴミ置き場等は、床面積に算入しない。

要求室等

下表の全ての室等は、指定された設置階に計画する。

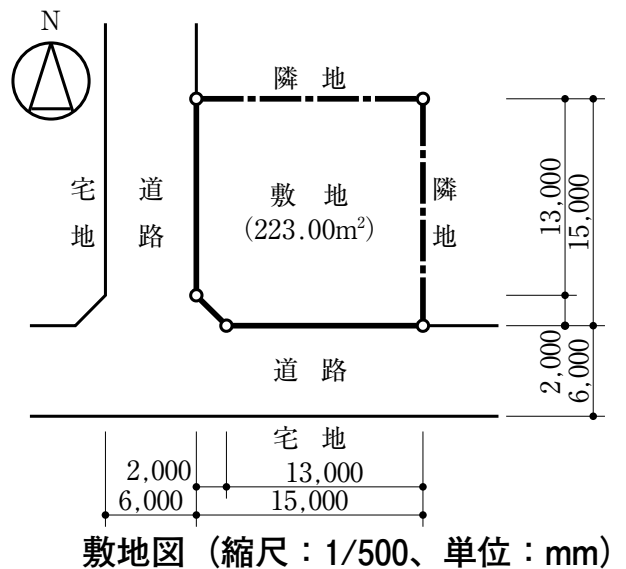
設置階	室名等	特記事項
1 階	玄 関	ア. 下足入れを設ける。 イ. 土間部分の広さは、心々1,820mm×1,820mm以上とする。(下足入れを含む。)
	L D K	ア. 1室にまとめ、25㎡以上として計画する。 イ. 入居者同士又は入居者の友人等を招いてのパーティー等にも使用する。 ウ. 屋外テラスと直接行き来できる出入口を設ける。 エ. ソファ、大型テーブル及び椅子(計8席以上)を設ける。 オ. アイランド型キッチンとする。 カ. リビング又はダイニング部分の上部に7.0㎡以上の吹抜けを設け、2階の廊下又は交流スペースから見下ろせるようにする。
	シャワールーム・脱衣室	ア. それぞれ2ブース設ける。 イ. 脱衣室に棚を設ける。
	洗濯室	・洗濯乾燥機2台以上を設ける。
	便所	・2室設ける。
	納戸(A)	
	専用部分 個室(A)	ア. 4室(各13㎡以上)設ける。 イ. いずれも洋室とし、それぞれにシングルベッド、テーブル、椅子、収納及び洗面台を設ける。
2 階	共用部分 交 流 ス ペ ース	ア. 入居者同士の交流の場として使用する。 イ. 室とし、廊下側の壁には窓を設ける。 ウ. テーブル、椅子(計6席以上)及びミニキッチンを設ける。 エ. 畳コーナー(3畳以上)を設ける。
	シャワールーム・脱衣室	ア. それぞれ3ブース設ける。 イ. 脱衣室に棚を設ける。
	洗濯室	・洗濯乾燥機2台以上を設ける。
	納戸(B)	
	専用部分 個室(B)	ア. 3室(各18㎡以上)設ける。 イ. いずれも洋室とし、それぞれに2段ベッド、テーブル、椅子、収納、便所及び洗面台を設ける。 ウ. それぞれに、バルコニーを設ける。

(注)各要求室等においては、床面積・広さの指定がない場合、床面積は適宜とする。

(5) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

屋外テラス	ア. LDKと直接行き来できるようにする。 イ. LDKと同じ高さとして計画する。 ウ. テーブル及び椅子(計6席以上)を設ける。
敷地内の通路	・個室(B)のバルコニーが直接道路に面していない場合、バルコニー前面に有効幅員1.5mの空地及び避難経路を確保する。
駐輪スペース ゴミ置き場	・10台分を設ける。 ・蓋の付いたゴミ収納車を置くことができるスペース(2,000mm×1,000mm)を設ける。
門・塀・植栽等	



2. 要求図書

- 答案用紙の定められた枠内に、下表の要求図書を記入する。(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい。)
- 図面は黒鉛筆で仕上げる。(定規を用いなくてもよい。)
- 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(矩計図にあては、10mm)である。
- シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよい。

要 求 図 書 () 内 は 縮 尺	特 記 事 項
(1)1階平面図 配置図 (1/100)	ア. 1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法 ・室名等 ・吹抜けの範囲(1階平面図兼配置図には破線、2階平面図には一点鎖線等その範囲を明記する) ・「通し柱」を○印で囲み、「耐力壁」には△印を付ける。 ・矩計図の切断位置及び方向
(2)2階平面図 (1/100)	イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、屋外テラス、バルコニー前面の空地及び避難経路(個室(B)のバルコニーが直接道路に面していない場合のみ)、駐輪スペース、ゴミ置き場、門、塀、植栽等 ・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・玄関の土間部分の地盤面からの高さ ・玄関ホール(廊下)及びLDKの床高 ・玄関…下足入れ ・LDK…ソファ、大型テーブル、椅子及びキッチン設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等) ・シャワールーム・脱衣室…棚 ・洗濯室…洗濯乾燥機 ・便所…洋式便器及び手洗い器 ・個室(A)…シングルベッド、テーブル、椅子、収納及び洗面台 ・屋外テラス…テーブル及び椅子
	ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。 ・1階の屋根伏図(平家部分がある場合) ・交流スペース…テーブル、椅子及びミニキッチン設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等) ・シャワールーム・脱衣室…棚 ・洗濯室…洗濯乾燥機 ・個室(B)…2段ベッド、テーブル、椅子、収納、洋式便器、洗面台及びバルコニー
(3)2階床伏図兼 1階小屋伏図 (1/100)	ア. 主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、母屋、小屋束等必要なもの)については、凡例の表示記号にしたがって記入し、断面寸法(小屋束を除く。)を凡例欄に記入する。ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及び垂木については、記入しなくてよい。 イ. 火打梁の代わりに、構造用面材による床組とする場合には、胴差、床梁、桁を記入したうえで構造用面材の種類・厚さ、釘の種類・打ち付け間隔を明記する。 ウ. その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 エ. 建築物の主要な寸法を記入する。
(4)立面図 (1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。
(5)矩計図 (1/20)	ア. 切断位置は、1階及び2階の外壁を含む部分とし、1階又は2階の少なくともどちらかの開口部を含むものとする。 イ. 作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってもよいものとする。 エ. 主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、開口部の内法、屋根の勾配)を記入する。 オ. 主要部材(基礎、土台、胴差、2階床梁、2階根太、桁、小屋梁、母屋、垂木等必要なもの)の名称・断面寸法を記入する。 カ. アンカーボルト、羽子板ボルト等の名称・寸法を記入する。 キ. 屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井)、外壁、その他必要と思われる部分の断熱・防湿措置を記入する。なお、外壁の断熱措置等を行う箇所については、材料名、材料の厚さ等も記入する。 ク. 室名及び内外の主要な部位(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上材料名を記入する。 ケ. 外壁の仕上げについては、乾式工法によるものとする。
(6)面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 面積の数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(7)計画の要点等	・建築物等の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ①1階と2階の入居者同士の交流に配慮しつつ、多様な入居者を想定したプライバシーの確保について、考慮した点 ②上下階の床衝撃音・騒音対策について、工夫した点 ③LDKに設ける耐力壁の「仕様(筋かた、構造用面材等)」、「壁倍率」及び「耐力壁の配置」について工夫した点